モーセから民への本目統一の部分

「あなたの死ぬ日か"近づいている。ヨシュアを召して共に会見の幕屋に立ちなさい。31:14

そしてモーセはイスラエルの全会衆に次の歌の言葉を、ことこ"とく語り聞かせた。31:30

モーセの部分が書かれた理由(31章)

・・この歌を書きしるし、イスラエルの人々に教えてその口に唱えさせ、この歌をイスラエルの人々に対するわたしのあかしとならせなさい。わたしが彼らの先祖たちに誓った、乳と蜜の流れる土地に彼らを導き入れる時・・ほかの神々に帰し、それに仕えて、わたしを軽んじ、わたしの契約を破るであるう。こうして多くの災と悩みとが彼らに臨む時、この歌は彼らに対して、あかしとなるであるう。 31:19-21

「主はおか"岩」

詩篇18: 主はわが岩、わが城、わたしを救う者、わが神、わが寄い頼む岩、わが盾、わが下数の角・・1サムエル2:(ハンナの祈り) 主のように聖なるものはない、あなたのほかには、だれもない、われわれの神のような岩はない。

#2モーセの部(申命記32章)

詩篇18篇は2サムエル22章

ダビデ"は主が"も3も3の敵の手とサウルの手から、自分を救い出された日に、この歌の言葉を主に向かって述べ・・



預言者イザヤの書のはじまり

天よ、聞け、せよ、耳を傾けよ・・「わたしは子を養い育てた、しかし彼らはわたしにそむいた。・・しかしイスラエルは知らず、わが同は悟らない」。ああ、罪深い国びと、不義を負う民、悪をなす者のすえ、堕落せる子らよ。彼らは主を捨て、イスラエルの聖者をあなどり、これをうとんじ遠ざかった。

イザヤ1:2-4

甲二文十する本申の法引

その日には、わたしは彼らにむかって怒りを 発し、彼らを持て、わたしの顔を彼らに隠す ゆえに、彼らは滅ぼしつくされ、多くの災と 悩みか"彼らに臨むであるう。31:17

争り、ききん、疫病

わたしは彼らの上に災を積みかさね、わたしの矢を彼らに むかって射つくすであるう。彼らは飢えて、やせ衰え、熱 病と悪い疫病によって減びるであるう。わたしは彼らを獣 の歯にかからせ、土地に這うものの毒にあたらせるであるう。 外にはつるぎ、内には恐れがあって・・ 32:23-25

商に復讐ノ民へのあわれみ

主はついにその目をさばき、そのしもべらにあわれみを加えられるであるう。32:36

国々の民よ、主の民のために喜び歌え。主はそのしもべの血のために報復し、その商はにあたを返し、その日と世の活れを清められるからである」。 32:43

神の1業モーセの部次と小羊の部次駅示録15章

「全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。主よ、あなたをおそれず、征名をほめたたえない者が、ありましょうか。あなただけが聖なるかたであり、あらゆる国民はきて、あなたを伏し拝むでしょう。あなたの正しいさばきが、あらわれるに至ったからであります」。

ノレヤ 默示銀19章

わたしは天の大群衆が大声で唱えるような声を聞いた、「ハレルヤ、救と栄光と力とは、われらの神のものであり、そのさばきは、真実で正しい。神は、姦淫でせせを汚した大淫婦をさばき、神の代表との血の報復を彼女になさったからである」。

わたしは道であり、真理であり、命であるョハネ14章

主は岩であって、そのみわざは全く、その道はみな正しい。主は真実なる神であって、偽りなく、義であって、正である。32:4

この言葉はあなたがたにとって、むなしい言葉ではない。これはあなたがたのいのちである。32:47

若草の 青草の は真実なる神であって 一にくだる夕立ちのように。 の名をのべよう ように降りそそぎ、 の言葉を聞け のみわざは全く したたるであろう。 しは語る、

口語訳聖書 1955 日本聖書協会



曲ったやからである。 って悪を行い、 もはや主の子らではなり

あなたを堅く立てられたあなたの父ではな 日を覚え、

の父に問え、

口語訳聖書 1955 日本聖書協会



諸国民にその嗣業を与えられたとき、

9主の分はその民であって、

ヤコブはその定められた嗣業である。

獣のほえる荒れ地で会い

羽をひろげて彼らをのせ、

ほかの神々はあずからなかった。

岩の中から蜜を吸わせ、

物を食わせられ



13主は彼に地の高き所を乗り通らせ、 12主はただひとりで彼を導かれて 10主はこれを荒野の地で見いだし、 もろもろの民の境を定められた。 しがその巣のひなを呼び起し、 つばさの上にこれを負うよう かけり たわ

あなたは肥え太って、 た神を捨て、 ンは肥え太っ つややかになり、

救の岩を侮った。

それは彼らがかつて知らなかった神々、 憎むべきおこないをもって主の怒りをひき起 い悪霊に犠牲をささげた。 主

口語訳聖書 1955 日本聖書協会



18あなたは自分を生んだ岩を軽んじ、

娘を怒 ってそれを捨てられた。

顔を彼らに隠そう。

はそむき、

い子らである。

い者をもっ

しにねたみを起させ、

わたしを怒らせた。

わたしは民ともいえない者をもって

にねたみを起させ、

愚かな民をもっ 彼らを怒らせるであろう。

の怒りによっ て、火は燃えい

の深みにまで燃え行き

地とその産物とを焼きつく

の基を燃やすであろう

しは彼らの上 に災を積みかさね、

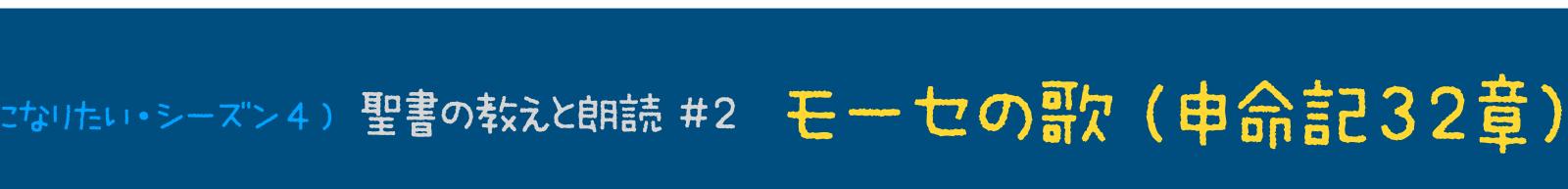
たしの矢を彼らにむか って射つくすであろう。

熱病と悪い疫病によって滅びる

の歯にかからせ

には には恐れがあって、 にあたらせるであろう。

口語訳聖書 1955 日本聖書協会





しかし、わたしは敵が誇るのを恐れる。

あだびとはまちがえて言うであろう

の手が勝ちをえたのだ。

これはみな主がされたことではない

28彼らは思慮の欠けた民、

そのうちには知識がない。

彼らに知恵があれば、 これをさとり、

その身の終りをわきまえたであろうに。

30彼らの岩が彼らを売らず

主が彼らをわたされなかったならば

ふたりで万人を敗ることができたであろう。

31彼らの岩はわれらの岩に及ばない

われらの敵もこれを認めている。

またゴモラの野から出たもの

そのぶどうは毒ぶどう、

毒のようである。

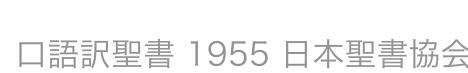
34これはわたしのもとにたく わえられ、

わたしの倉に封じ込められているではな

35彼らの足がすべるとき

いをするであろう。

かに来るであろう。



らにあわれみを加えられるであろう。

い者も

主が見られるからである。

は言われるであろう

いるか、

のあぶらを食い、

灌祭の酒を飲んだ者はどこにい 立ちあがってあなたがたを助けさせよ、

あなたがたを守らせよ。

手にさばきを握るとき、

の汚れを清められるからである」

殺された者と捕えられた者の血を飲ませ、 わたしは敵にあだを返し、 わたしは永遠に生きる。 の長髪の頭の肉を食わせるであろう しがきらめく しを憎む者に報復するであろう。 の矢を血に るぎに肉を食わせるであろう。 酔わせ、 つるぎをとぎ、 い手をあげて誓う い出しうるものはな